

## Ⅱ-4 子どもは「生き生き」してる？(4～5歳児)

### ワーク1

- 最近のあなたのお子さんが「生き生き」していた場面を思い出し、気楽に出し合いましょう。  
(公園では？ 自然の中では？ 室内では？)

### ワーク2

- なぜあなたのお子さんが「生き生き」できたのか、話し合いましょう。



## 資料

## 自己発揮が大切な4～5歳児

4歳頃には、草花や虫といった身近な自然に興味をもち、積極的にかかわろうとするようになり、認識力や色彩感覚が育ってきます。また、想像によりイメージを広げる力が高まってきて、友達とイメージを共有して、ごっこ遊びに没頭するようになります。5歳頃になると、運動能力が高まり、縄跳びやボール遊びなどの体全体を使った複雑な運動をするようになり、鬼ごっこなどで活発に体を動かすようになります。

この頃は、子どもたちが自己を十分に発揮し、生き生きと活動できることが大切です。

(厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館、2008年)

## ワーク3

- お子さんが「生き生き」と活動できるように、これからどんなことをしたいですか？出し合いましょう。

## ふりかえり

- 感想を発表し合いましょう。